

服用前にこの添付文書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

しゃくやくかんぞうとう
漢方製剤(芍薬甘草湯エキス顆粒)

第2類医薬品

スビット顆粒

■製品の特徴

- 「芍薬甘草湯」は漢方の鎮痛剤といわれ、急激におこる筋肉のけいれんを伴う痛み、こむらがり、腹痛、腰痛などの症状を改善するための処方です。
- 本剤は「芍薬甘草湯」の1日最大量の生薬より抽出したエキスを配合した満量処方です。
- 本剤は飲みやすく服用量を調節しやすい顆粒で、頓服として用いられます。



使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないでください

- (1) 生後3ヵ月未満の乳児。
- (2) 次の診断を受けた人。

心臓病

2. 症状があるときのみの服用にとどめ、連用しないでください



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 高齢者。
- (4) 次の症状のある人。

むくみ

- (5) 次の診断を受けた人。

高血圧、腎臓病

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診察を受けてください。

症状の名称	症 状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
うっ血性心不全、心室頻拍	全身のだるさ、動悸、息切れ、胸部の不快感、胸が痛む、めまい、失神等があらわれる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

3. 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

■効能・効果

体力に関わらず使用でき、筋肉の急激なけいれんを伴う痛みのあるものの次の諸症：
こむらがり、筋肉のけいれん、腹痛、腰痛

■用法・用量

1日2～3回服用してください。

年 齢	1 回 量	1 日服用回数
成人(15歳以上)	1 包	2～3回
7歳以上 15歳未満	2／3包	
4歳以上 7歳未満	1／2包	
2歳以上 4歳未満	1／3包	
2歳未満	1／4包	

*微温湯又は水で服用してください。

<用法・用量に関連する注意>

- (1)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (2)1歳未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、やむを得ない場合にのみ服用させてください。
- (3)定められた用法・用量を厳守してください。

■成分・分量

成人1日量3包(1包2g)中

日局 芍薬甘草湯エキス 2.4g

成 分	分 量
日局 シャクヤク	6g
日局 カンゾウ	6g

より製した乾燥エキス

添加物：乳糖水和物、バレイシヨデンプン、メタケイ酸アルミン酸マグネシウム、低置換度ヒドロキシプロピルセルロース、カルメロースカルシウム、ステアリン酸マグネシウム

<成分・分量に関連する注意>

本剤は天然物(生薬)のエキスを用いていますので、顆粒の色調等が多少異なることがあります。

■保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4)湿気などにより薬が固化することがありますので、1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返して保管し、速やかに服用してください。
- (5)使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

本剤についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記にお願い致します。

お客様相談室

電話 06-6131-1300 (祝日を除く月～金曜日 10:00～17:00)

製造販売元



株式
会社

阪本漢法製薬

兵庫県尼崎市名神町1-5-12